

大石 茉莉香 個展

OISHI Marika solo exhibition



ココナッツデモ

Coconut demo

KUNST ARZT では、昨年に引き続き、
8 年連続となる大石茉莉香の個展を開催します。
大石茉莉香は、消滅、崩壊し続けるイメージに
美を見出してきたアーティストです。
TV やネットから際限無く流されるイメージから
生み出される“一般共通認識”に強く疑念を持ち、
まるで隠された何かを暴くかのように、
それらを破壊してきました。
本展では、現在進行中のミャンマーの
軍事クーデターを題材に、ココナッツを核として、
インスタレーション展開する構想です。

(KUNSTARZT 岡本光博)



ラクリモーサ 2020

経歴

- 1988 大阪生まれ
- 2008 エディンバラ芸術大学に交換留学
- 2010 京都精華大学 芸術学部 洋画コース卒業
- 2012 大阪教育大学大学院 芸術文化 絵画コース修了

個展

- 2008 「人と月の形がもたらす印象による衝動」
- 2008 Edinburgh College of Art イギリス スコットランド
- 2012 「Q1」展 ギャラリー自由空間
- 2014 「Q±0」展 KUNST ARZT
- 2015 「Q0Q0Q0Q0Q0Q0Q0Q0Q0Q0…」 KUNST ARZT
- 2016 「((((事実のゲシュタルト崩壊))))」 KUNST ARZT
- 2017 「仮死状態」 KUNST ARZT
- 2018 「36 億年の彼」 KUNST ARZT
- 2019 「システムとしての私という花模様」 KUNST ARZT
- 2019 「花模様の儀式」N-MARK B1 愛知
- 2020 「ラクリモーサ」 KUNST ARZT

グループ展

- 2011 LINK 展 京都市立美術館
- 2012 LINK 展 京都市立美術館
- 2013 LINK 展 京都市立美術館
- 2014 LINK 展 京都市立美術館
- 2015 LINK 展 京都市立美術館
- 2017 「ウォーホル美術」 KUNST ARZT

2021 年 6 月 22 日 (火) から 27 日 (日)

12:00 から 18:00

会 場 : KUNST ARZT

605-0033 京都東山区三条神宮道北東角 2F

問い合わせ



KUNST ARZT 代表 岡本光博

090-9697-3786

kunstarzt@gmail.com

展覧会コンセプト

ふと流れてきたココナッツの実が道路の真ん中に均一にならべられている不思議な写真。
ミャンマーで起きた軍事クーデターに対抗するデモ活動を伝える写真だった。
いまミャンマーでは生身の人間がデモ活動を行なうと命の危険がある。
そのためココナッツをヒトと見立てたデモ活動が行われていた。
そのような状況下だからこその生み出された売るためでもなく食べるためでもなく
人の代わりとして使われるココナッツ。
私はココナッツが人間の頭にしか見えなくなった



個展「ラクリモーサ」
2020
KUNST ARZT での展示風景

部屋に入っすぐモーツアルトの曲「レクイエム」の「ラクリモーサ」が流れる。「ラクリモーサ」はモーツアルトが最期に作曲した「レクイエム」の第8曲である。細かくいうと第8小節までがモーツアルトの作曲であり他は弟子の手によって完成された。ちょうど第8小節が終わる50秒ほどでブツリと曲が消えるように編集する。そしてモニターに映る自分と対峙しながら花を供える。死の疑似体験ができる仕組み。

*ラクリモーサ (Lacrimosa) とはモーツアルトが最後に作曲した曲「レクイエム」の第8曲「ラクリモーサ」。ラテン語で「涙の日」という意味。レクイエムとは死者のためのミサという意味で、依頼されて作曲したものの、作曲途中で命を落としてしまったため自身のための葬送曲と言われている。

個展「花模様の儀式」
2019
N-MARK B1 (愛知) での展示風景

2019年 KUNSTARZT での個展「システムとしての私という花模様」ではスリランカの教会の爆破テロをモチーフに、テロを再現したような作品を作った。死の再現はとても重く心に残り、それを消化するためにそのあとの個展「花模様の儀式」では「システムとしての私という花模様」の作品を供養するような形で儀式の場のような作品を作った。

